

コロナ禍における児童生徒の心の状態に関する実態調査について

1 実態調査について

- (1) 調査目的 コロナ禍における児童生徒の心の状態をより具体的に把握し、学校におけるきめ細やかな対応につなげる。
- (2) 調査対象 徳島県内の公立学校の児童生徒及び教職員（抽出）
○児童生徒 2,544 名（小 6・中 1・高 1）
○教員 250 名（小 6・中 1・高 1 の担任，養護教諭，教育相談コーディネーター）
- (3) 調査方法 アンケート調査（10月3日から10月23日までの期間）

2 調査結果概要

(1) 児童生徒への主な調査項目と結果

ア 今年 4 月から現在までの心の状態について

○不安や悩みストレスは昨年度と比べ、どのような状態ですか。

- ①かなり増えている 12.0% ②少し増えている 32.3% ③変わらない 26.3%
④少し減っている 7.2% ⑤かなり減っている 6.7%
⑥不安や悩み，ストレスはない 15.4%

イ 現在の自分の様子や気持ちについて

○不安や悩み，ストレスはありますか。

- ①ある 21.7% ②少しある 39.1% ③ない 29.6% ④わからない 9.6%

○「ある」「少しある」と答えた人の中で，新型コロナウイルスが影響している不安や悩み，ストレスはありますか。

- ①ある 12.2% ②少しある 27.0% ③ない 52.2% ④わからない 8.5%

○新型コロナウイルスが影響している不安や悩み，ストレスの内容について（複数回答可）

- ①自分や家族に感染すること 40.4% ②学校行事のこと 34.3%
③文化・スポーツ（部活動を含む）のこと 29.0% ④学習・進路のこと 26.2%
⑤健康・体調のこと 23.1%

(2) 教職員への主な調査項目と結果

ア 新型コロナウイルスが影響している児童生徒の不安や悩み，ストレスの有無について

- ①ある 25.2% ②少しある 52.0% ③ない 13.2% ④わからない 9.2%

イ 新型コロナウイルスが影響していると思われる児童生徒の不安や悩み，ストレスの内容について（複数回答可）

- ①学校行事のこと 45.6% ②自分や家族に感染すること 37.3%
③学校へ行くこと 35.8% ④学習・進路のこと 35.2% ⑤健康・体調のこと 34.7%

ウ コロナ禍における児童生徒の心の状態について（自由記述）

○学習・進路への不安や学校行事がこれまで通りできないことへの不安など，ストレスは増えていると思う。

○登校を渋る児童が増えた。疲労感が抜けきれない。

○制限のある中で，子どもたちは工夫しながら生活をしている。良くも悪くも今の生活に慣れてきた。

3 今後の対応

本調査結果を学校と情報共有するとともに，児童生徒が一人で悩みを抱え込まないよう SNS による相談窓口等の活用やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携を強化し，児童生徒の不安や悩み，ストレスに適切に対応する。また，感染防止に向けた取組を再度徹底することにより，感染への不安軽減に努め，安心して安全な教育環境の整備に努める。

